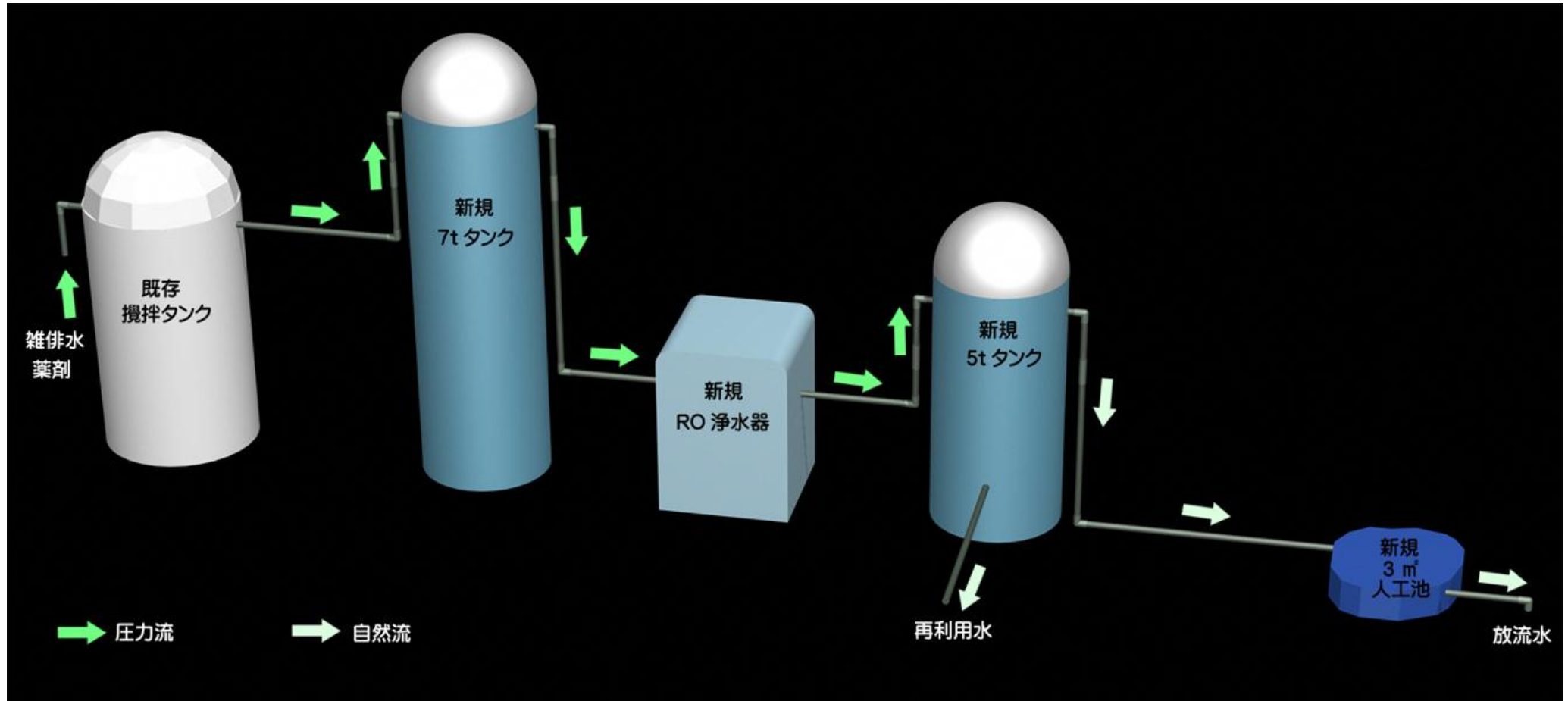


飯田メッキ 排水の再利用について

平成 24 年 7 月 10 日

システム概要図



- ・ 新規 7t、5t タンクは、ドレン・給排水孔・点検ハッチ・ハシゴ・手摺が付くものとする。
- ・ 新規 RO 浄水器は、屋内に設置とし、1 時間の浄水能力が 3.5t 以上とする。また浄化した水は必ず再利用できるものとする。
- ・ 新規設置の放流池については、外部のひと目につく場所に魚類（鯉等）を飼育する。自然形状に見せる。噴水・灯籠の設置をする。

(注) 現在の処理水の再利用について RO 浄水器への導水は、活性炭等、処理が必要であると思われる (2t 槽 産廃、年間 2 回と推測)。

雑排水の処理について

添加量/1/2000にて実験



処理前 (pH3.5)

処理後 (pH6.5) R0 浄水器にかけられる水質

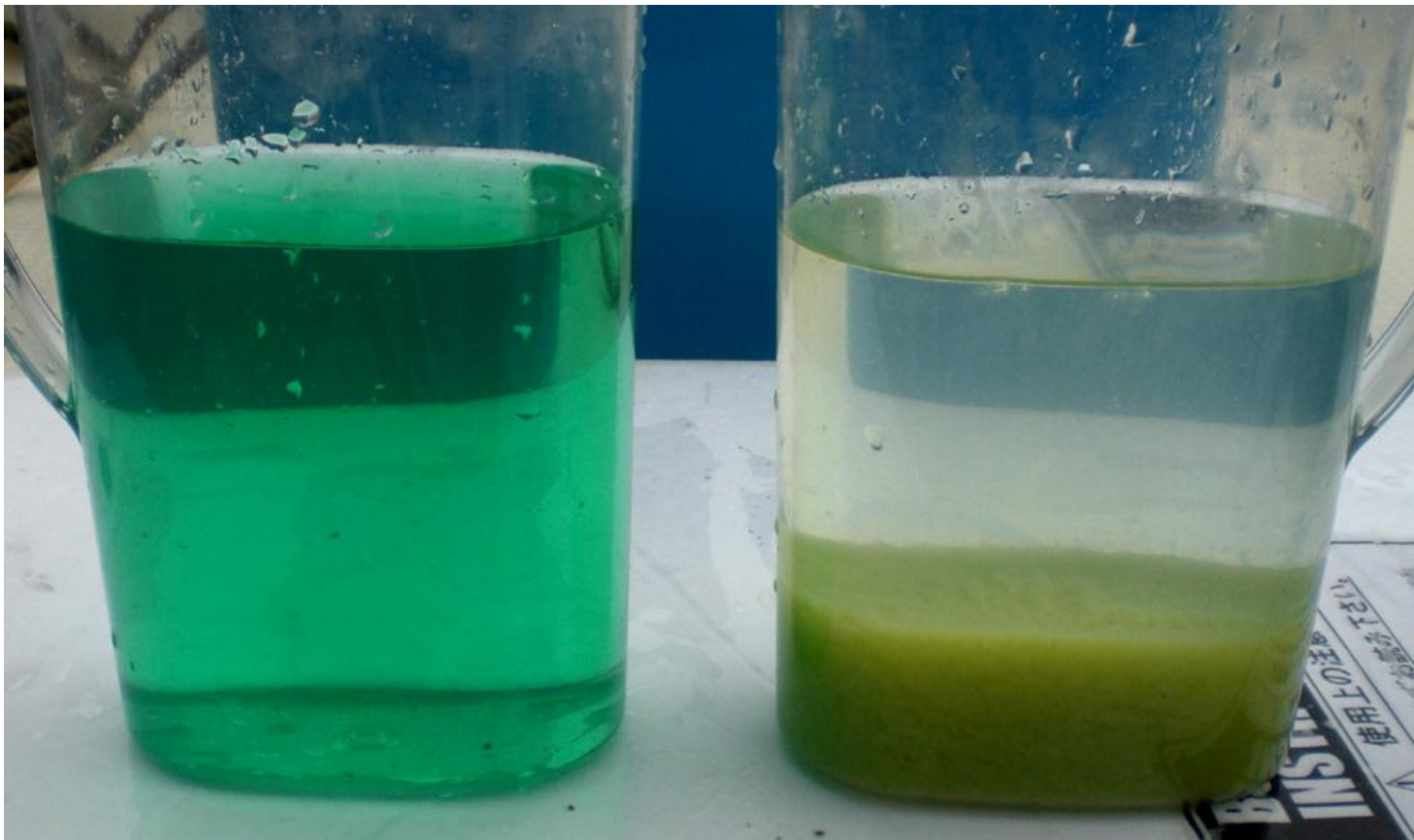
* 高分子凝集剤の仕様なし

使用剤 M11 (pH調整)

使用剤 M02 (凝集沈殿)

リン・ニッケル液 処理について

添加量 未計量 (試験水の量の不足)



処理前 (pH4.0)

処理後 (pH6.5)

使用剤 濾過材 (新規開発)

* 高分子凝集剤の仕様有り

使用剤 M12 (pH調整)

使用剤 M04 (凝集沈殿)

・沈殿の原理は確認できたが、今一工夫が必要です。

課題： 1) 高分子凝集剤の使用はしない。 2) 沈殿汚泥の凝集率を高める。 3) RO浄水器に至り再利用水とする。